



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月12日

上場会社名 三菱製鋼株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5632 URL https://www.mitsubishisteel.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 佐藤基行  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 柳沼康一 (TEL) 03(3536)3135  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	60,169	△4.7	74	△91.0	△404	—	△14,310	—
2019年3月期第2四半期	63,105	9.0	831	△51.0	332	△78.5	296	△63.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △16,982百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △1,389百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△930.15	—
2019年3月期第2四半期	19.29	—

(注) 2019年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年3月期第2四半期につきましては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	132,203	50,001	33.5
2019年3月期	153,327	67,353	38.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 44,297百万円 2019年3月期 59,039百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△7.2	0	△100.0	△1,300	—	△16,000	—	△1,040.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細につきましては、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	15,709,968株	2019年3月期	15,709,968株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	325,111株	2019年3月期	325,590株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	15,384,575株	2019年3月期2Q	15,384,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、本予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
3. 補足情報(連結)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月～2019年9月)における当社グループを取りまく経営環境は、自動車業界において、国内は底堅く推移したものの、海外は米中貿易摩擦等の影響により、北米、中国市場に加え、東南アジアや欧州市場においても生産台数が減少しています。建設機械業界においては、国内では主要顧客の生産減とこれに伴う在庫調整の動きが見られ、海外ではインドネシア等東南アジアの一部地域で需要が低迷し、また産業機械・工作機械業界においても、内需・外需ともに需要が大幅に減少しており、回復時期の見通しは不透明な状況にあります。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比29億3千6百万円(4.7%)減収の601億6千9百万円となりました。営業利益は、前年同期比7億5千6百万円(91.0%)減益の7千4百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、海外子会社において減損損失として特別損失148億5千1百万円を計上したことにより、143億1千万円の損失(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億9千6百万円)となりました。減損損失の内訳は、以下の通りです。

特殊鋼材事業におけるインドネシア子会社は、インドネシア経済の減速による受注量の低迷に加え、新規受注品の立上げトラブル等により生産コストが上昇し収益が悪化したことから、固定資産について89億8千7百万円の減損損失を計上いたしました。

インドネシア鋼材事業につきましては、品質改善と大幅な人員削減を伴うコストダウンに加え、顧客への承認活動も進展しております。今後さらに丸鋼の拡販を進め、あわせてばね事業とのシナジーによる平鋼の拡販により、事業を再生してまいります。

ばね事業における北米、欧州他の子会社は、保護貿易主義の台頭による資材価格の上昇、自動車メーカーのグローバル生産体制の見直し、世界的な景況感の悪化もあり、売上げや収益が低迷しました。また、北米ばね子会社における新規受注品の立上げトラブルにより、生産コストが上昇し収益が悪化したことから、固定資産について54億6千9百万円の減損損失を計上いたしました。

海外ばね事業につきましては、拠点の統廃合を含め、事業の再構築を進めてまいります。

素形材事業におけるタイ子会社は、想定以上にディーゼル用ターボチャージャー部品の受注が減少していることから、固定資産について3億9千4百万円の減損損失を計上いたしました。

タイ素形材事業につきましては、千葉マザー工場を活用して競争力を強化し、ガソリン用ターボチャージャー部品の拡販に注力し、業績改善に努めてまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

特殊鋼材事業につきましては、国内事業における建設機械及び産業機械・工作機械メーカーの需要低迷による売上げの減少が大きく影響し、インドネシア海外事業の売上増加があったものの、売上高は、前年同期比19億9千4百万円(6.3%)減収の296億6千1百万円となりました。営業利益は、国内事業においては、売価改善効果と来年度の高炉改修に備えた在庫積上げによる生産増の効果があったものの、販売数量減が大きく影響し、また、海外事業では、副資材高騰と製鋼工場の生産トラブルによるコスト増により、前年同期比2億2千8百万円(21.0%)減益の8億5千9百万円となりました。

ばね事業につきましては、北米子会社をはじめとした海外子会社での自動車向け販売減及び為替の影響により、また建設機械向けの需要低迷もあり、売上高は、前年同期比13億4千5百万円(5.4%)減収の233億9千3百万円となりました。営業利益は、北米子会社において、売上減に加え新製品の生産トラブルによりコストが増加したことと、欧州子会社でも自動車需要の低迷の影響を受けたことにより、前年同期比5億4千8百万円減益の9億9千6百万円の損失(前年同期は営業損失4億4千7百万円)となりました。

素形材事業につきましては、中国市場の低迷による特殊合金粉末等の出荷量減と、合金原材料価格の変動に伴う売価下落の影響が大きく、売上高は、前年同期比10億4千1百万円(18.1%)減収の47億1千1百万円となりました。営業利益は、マザー工場立ち上げに関わる費用負担に、特殊合金粉末の出荷量減少が重なり、前年同期比9千8百万円減益の2千5百万円の損失(前年同期は営業利益7千2百万円)となりました。

機器装置事業につきましては、新分野の海洋機器関連製品等の売上増により、売上高は、前年同期比8億9千8百万円(24.3%)増収の45億9千8百万円となりました。営業利益は、売上げの増加により、前年同期比8千3百

万円(144.7%)増益の1億4千1百万円となりました。

その他の事業につきましては、流通及びサービス業等ではありますが、売上高は、前年同期比5千2百万円(2.6%)減収の19億6千7百万円、営業利益は、前年同期と同水準の7千7百万円(0.1%増益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ211億2千3百万円減少し、1,322億3百万円となりました。これは主にたな卸資産等が増加した一方で、現金及び預金、売掛金等及び固定資産のうち有形固定資産及び無形固定資産の減損損失による影響で減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ37億7千1百万円減少し、822億2百万円となりました。これは主に借入金が増加した一方で、未払法人税等や仕入債務等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ173億5千2百万円減少し、500億1百万円となりました。これは主に利益剰余金等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、営業活動では4億7千2百万円の支出、投資活動では48億6百万円の支出、財務活動では9億5千6百万円の収入となりました。

この結果、現金及び現金同等物は当第2四半期連結累計期間に43億8千8百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は217億3百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期までの業績の状況等および経営環境を勘案し、2019年5月14日に公表した2020年3月期通期業績予想を、下表のとおり修正いたします。詳細につきましては、本日発表の「特別損失(減損損失)の計上および繰延税金資産の取り崩し、第2四半期業績予想と実績との差異ならびに通期業績予想の修正、2020年3月期配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)通期業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 137,000	百万円 2,000	百万円 700	百万円 300	円 銭 19.50
今回修正予想(B)	120,000	0	△1,300	△16,000	△1,040.00
増減額(B-A)	△17,000	△2,000	△2,000	△16,300	—
増減率(%)	△12.4	△100.0	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	129,370	1,055	117	280	18.24

通期の業績予想につきましては、米中貿易摩擦等の影響もあり、国内の建設機械業界において、さらなる需要の減少を見込んでおり、また、海外ばね子会社、インドネシア特殊鋼鋼材子会社での販売減も継続する見通しであることから、売上高は、前回予想を下回る見込みであります。

営業利益、経常利益は、減損損失の計上により償却負担が軽減されるものの、国内特殊鋼鋼材事業における販売量の一段の減少と、北米ばね子会社とインドネシア特殊鋼鋼材子会社の販売減が継続する見通しであることから、前回予想を下回る見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益が前回予想を下回る見込みとなったこと、ならびに上記の減損損失の計上および繰延税金資産の取り崩しにより、前回予想を大きく下回る見込みであります。

当社といたしましては、当年度において多額の減損損失を計上し、当期純損失の見通しとなったことを重く受け止め、役員報酬の一部返上を決定いたしました。既に事業構造改革に着手し、拠点の統廃合の検討および新規投資の見直しに加え、緊急業績対策として、グループ全体の人員圧縮をはじめ、試験研究費や修繕費等の固定費削減を行っております。

足下の業績改善に向けた緊急業績対策を着実に実行するとともに、「2016中期経営計画」を1年前倒しで見直し、拠点の統廃合を含む「2020～2022年の次期中期経営計画」の作成を進めており、来年5月を目途に公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,112	14,413
受取手形及び売掛金	30,945	25,230
電子記録債権	6,626	4,673
有価証券	9,000	7,300
商品及び製品	8,755	12,147
仕掛品	5,537	6,336
原材料及び貯蔵品	6,677	7,983
その他	3,746	2,316
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	88,396	80,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,432	8,507
機械装置及び運搬具（純額）	14,297	8,592
土地	6,514	13,852
その他（純額）	9,215	5,761
有形固定資産合計	39,460	36,714
無形固定資産		
のれん	3,092	—
土地使用権	6,961	—
その他	1,852	1,468
無形固定資産合計	11,905	1,468
投資その他の資産		
投資有価証券	10,244	10,361
退職給付に係る資産	1,544	1,593
その他	1,775	1,669
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	13,564	13,623
固定資産合計	64,930	51,805
資産合計	153,327	132,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,358	10,319
電子記録債務	6,146	4,728
短期借入金	17,821	22,269
未払法人税等	1,817	280
その他	6,992	6,253
流動負債合計	46,136	43,852
固定負債		
長期借入金	24,421	21,518
役員退職慰労引当金	177	93
役員株式給付引当金	29	14
退職給付に係る負債	9,503	9,489
その他	5,705	7,233
固定負債合計	39,837	38,350
負債合計	85,973	82,202
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,003	10,003
資本剰余金	3,691	3,691
利益剰余金	48,706	33,957
自己株式	△1,272	△1,271
株主資本合計	61,128	46,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,456	2,663
為替換算調整勘定	△2,929	△3,205
退職給付に係る調整累計額	△1,615	△1,541
その他の包括利益累計額合計	△2,088	△2,083
非支配株主持分	8,313	5,703
純資産合計	67,353	50,001
負債純資産合計	153,327	132,203

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	63,105	60,169
売上原価	54,460	52,649
売上総利益	8,645	7,519
販売費及び一般管理費	7,814	7,445
営業利益	831	74
営業外収益		
受取利息	21	22
受取配当金	163	125
その他	150	101
営業外収益合計	335	248
営業外費用		
支払利息	471	552
持分法による投資損失	1	3
為替差損	263	98
その他	97	73
営業外費用合計	833	728
経常利益又は経常損失(△)	332	△404
特別利益		
固定資産処分益	150	6
投資有価証券売却益	188	—
特別利益合計	339	6
特別損失		
減損損失	—	14,851
固定資産処分損	—	297
投資有価証券評価損	—	136
災害による損失	32	98
事業撤退損	—	40
特別損失合計	32	15,424
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	639	△15,822
法人税、住民税及び事業税	828	190
法人税等調整額	△72	992
法人税等合計	755	1,182
四半期純損失(△)	△116	△17,005
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△413	△2,695
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	296	△14,310

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△116	△17,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	283	207
繰延ヘッジ損益	8	—
為替換算調整勘定	△1,386	△263
退職給付に係る調整額	△172	85
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△6
その他の包括利益合計	△1,273	22
四半期包括利益	△1,389	△16,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△540	△14,304
非支配株主に係る四半期包括利益	△849	△2,678

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	639	△15,822
減価償却費	2,166	2,205
減損損失	—	14,851
のれん償却額	160	170
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	26	81
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△181	△52
受取利息及び受取配当金	△184	△147
支払利息	471	552
為替差損益(△は益)	12	△16
持分法による投資損益(△は益)	1	3
固定資産処分損益(△は益)	△115	297
投資有価証券売却損益(△は益)	△188	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	136
売上債権の増減額(△は増加)	△125	7,580
たな卸資産の増減額(△は増加)	△499	△5,614
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,575	△4,294
その他	323	1,665
小計	△75	1,597
利息及び配当金の受取額	184	147
利息の支払額	△417	△522
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△124	△1,695
営業活動によるキャッシュ・フロー	△433	△472
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△11	△13
定期預金の払戻による収入	24	24
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	408	—
有形固定資産の取得による支出	△2,526	△4,594
有形固定資産の売却による収入	229	94
無形固定資産の取得による支出	△117	△372
貸付けによる支出	△10	△7
貸付金の回収による収入	4	8
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による支出	△1,590	—
その他	△10	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,606	△4,806

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,368	2,970
長期借入れによる収入	559	1,270
長期借入金の返済による支出	△1,803	△2,529
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の処分による収入	—	0
非支配株主への配当金の支払額	△17	△10
リース債務の返済による支出	△193	△204
配当金の支払額	△541	△539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,365	956
現金及び現金同等物に係る換算差額	80	△66
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,324	△4,388
現金及び現金同等物の期首残高	28,373	26,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,049	21,703

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、IFRSを適用している子会社は、IFRS第16号「リース」(以下、「本基準」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。本基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。この結果、四半期連結貸借対照表上、有形固定資産のその他(純額)が459百万円、流動負債のその他が35百万円、固定負債のその他が588百万円それぞれ増加しております。

なお、本基準を適用した結果、従来無形固定資産として計上しておりました海外子会社の土地使用権7,201百万円は、その契約が付与する権利が有形固定資産項目の実質上の購入を表していると判断されることから土地として、第1四半期連結累計期間より有形固定資産の「土地」に独立掲記しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	28,173	24,730	5,698	3,498	1,005	63,105	—	63,105
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,482	8	54	202	1,014	4,762	△4,762	—
計	31,655	24,739	5,752	3,700	2,020	67,867	△4,762	63,105
セグメント利益又は 損失(△)	1,087	△447	72	57	77	847	△16	831

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、「四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	26,569	23,383	4,620	4,473	1,122	60,169	—	60,169
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,091	10	90	125	845	4,163	△4,163	—
計	29,661	23,393	4,711	4,598	1,967	64,332	△4,163	60,169
セグメント利益又は 損失(△)	859	△996	△25	141	77	56	18	74

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

特殊鋼鋼材事業、ばね事業及び素形材事業において、事業環境の悪化を受け将来事業計画を見直した結果、当初想定していた収益性が見込めなくなったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

当該減損損失の計上額は、特殊鋼鋼材事業8,987百万円、ばね事業5,469百万円、素形材事業394百万円であります。

また、素形材事業に属する鑄造磁石事業の撤退に伴う減損損失14百万円を特別損失として計上しております。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

前第1四半期連結会計期間に取得したGebrüder Ahle GmbH & Co. KGの取得原価の配分について、前第1四半期連結累計期間では暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間において確定しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、前第2四半期連結累計期間に暫定的に算定されたのれんの金額1,128百万円は、取得原価の配分額の確定により834百万円減少し、294百万円となっております。のれんの減少は、主に有形固定資産445百万円、無形固定資産332百万円が増加したことによるものです。また、前第2四半期連結累計期間における四半期連結損益計算書は、販売費及び一般管理費が22百万円減少したことにより営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益、親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ22百万円増加しております。

## 3. 補足情報(連結)

(金額単位=百万円)

## 1. 業績

	四半期累計期間				通期		
	前期	当期	前第2四半期比増減	増減率(%)	前期実績	※当期予想	
	2018年4月-2018年9月	2019年4月-2019年9月			2019年3月期	2020年3月期	増減率(%)
売上高	63,105	60,169	△2,936	△4.7	129,370	120,000	△7.2
営業利益	831	74	△756	△91.0	1,055	0	△100.0
経常損益	332	△404	△737	-	117	△1,300	-
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損益	296	△14,310	△14,606	-	280	△16,000	-

※2019年11月12日公表

1株当たり四半期 (当期)純損益	19.29	△930.15	18.24	△1,040.00
---------------------	-------	---------	-------	-----------

## 2. 四半期毎の業績推移

	前期 (2019年3月期)				当期 (2020年3月期)	
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)
	売上高	30,595	32,510	31,798	34,466	30,124
営業損益	259	571	△67	291	46	27
経常損益	174	157	△418	203	△100	△304
親会社株主に帰属する 四半期純損益	194	102	△473	457	△200	△14,109

## 3. セグメント別売上高推移

	前期 (2019年3月期)				当期 (2020年3月期)	
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)
	特殊鋼鋼材	15,748	15,906	15,814	17,290	15,573
ばね	11,867	12,871	12,675	12,239	11,681	11,712
素形材	2,709	3,042	2,889	2,745	2,435	2,275
機器装置	1,508	2,191	1,881	3,672	1,766	2,832
その他	1,044	976	1,077	1,073	1,014	952
調整額	△2,283	△2,478	△2,539	△2,554	△2,347	△1,815
合計	30,595	32,510	31,798	34,466	30,124	30,044

## 4. 要約連結貸借対照表

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
	2019年3月末	2019年9月末			2019年3月末	2019年9月末	
流動資産	88,396	80,397	△7,999	負債	85,973	82,202	△3,771
現預金等	26,112	21,713	△4,399	営業負債	19,505	15,048	△4,457
営業債権	37,571	29,903	△7,667	有利子負債	42,242	43,788	1,545
たな卸資産	20,970	26,467	5,497	その他	24,225	23,365	△859
その他	3,742	2,313	△1,429				
固定資産	64,930	51,805	△13,124	純資産	67,353	50,001	△17,352
有形固定資産	39,460	36,714	△2,746	株主資本	61,128	46,381	△14,747
無形固定資産	11,905	1,468	△10,437	その他の 包括利益累計額	△2,088	△2,083	5
投資その他資産	13,564	13,623	59	非支配株主持分	8,313	5,703	△2,610
資産合計	153,327	132,203	△21,123	負債純資産合計	153,327	132,203	△21,123